

かわさき

社協だより

2022.1 No.93
発行：社会福祉法人 川崎町社会福祉協議会
〒989-1501 川崎町大字前川字北原23-1
TEL 0224-85-1222 FAX 0224-85-1224
E-mail kawasakit-shakyo@io.ocn.ne.jp

ふれあいネットワーク



川校和太鼓



川崎の空に響き舞う！
絆つなぐ伝統の和太鼓・踊り
川校魂！



ふれあい踊り

令和3年度

川崎町社会福祉協議会会費

にご協力ありがとうございました。

～地域福祉事業は皆様の会費によって支えられています。～

今年も住民の皆様のあたたかいご協力をいただきまして心より御礼と感謝を申し上げます。
また、取りまとめいただいた行政区長さんをはじめ、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

12月1日現在

	行政区名	一般会費加入世帯数	会費納入額		行政区名	一般会費加入世帯数	会費納入額		行政区名	一般会費加入世帯数	会費納入額
1	裏丁上	139	139,000	9	野上	162	162,000	16	川内三	57	57,000
2	裏丁下	165	165,000	10	古閑	42	42,000	17	本砂金	86	86,000
3	本荒町	194	194,000	11	笹谷	22	22,000	18	小沢	18	18,000
4	中新町	211	211,000	12	小野	72	72,000	19	支倉上	112	112,000
5	前川東部	81	81,000	13	川内一	142	142,000	20	支倉下	51	51,000
6	前川西部	87	87,000	14	川内北川	196	196,000	21	碓石	82	82,000
7	青根	56	56,000	15	川内二	57	57,000	22	支倉台	161	161,000
8	立野	128	128,000								

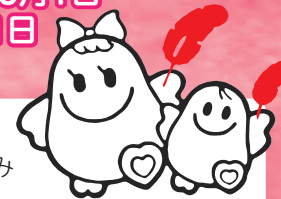
一般会費加入総世帯数：2,321 / 合計額：2,321,000円

令和3年度

赤い羽根共同募金

運動期間

令和3年10月1日～12月31日



12月1日現在

赤い羽根募金は、宮城県共同募金会に送金し、次年度の福祉事業の財源として配分されます。
主に社会福祉協議会や社会福祉施設、NPO、ボランティア団体等、また、地域住民同士の支えを生み出す地域福祉活動にも使われております。皆様のご協力ありがとうございました。

	行政区名	赤い羽根募金世帯数	募金額		行政区名	赤い羽根募金世帯数	募金額
1	裏丁上	139	83,400	12	小野	72	43,200
2	裏丁下	165	99,000	13	川内一	150	90,000
3	本荒町	195	117,000	14	川内北川	195	117,000
4	中新町	211	126,600	15	川内二	57	34,200
5	前川東部	79	47,400	16	川内三	57	34,200
6	前川西部	87	52,200	17	本砂金	86	51,600
7	青根	55	33,000	18	小沢	17	16,700
8	立野	130	65,000	19	支倉上	112	67,200
9	野上	164	98,400	20	支倉下	51	30,600
10	古閑	44	26,400	21	碓石	85	51,000
11	笹谷	22	13,200	22	支倉台	161	65,250

赤い羽根募金総世帯数：2,334 / 合計額：1,362,550円

職域・団体募金

- 川崎町役場職員一同
- 川崎町土地改良区職員一同
- 川崎町社会福祉協議会職員一同
- 国保川崎病院職員一同

合計：50,257円

学校募金

- 富岡小学校児童一同
- 富岡中学校生徒一同
- 川崎中学校生徒一同
- 川崎第二小学校児童一同
- 柴田農林高等学校川崎校生徒一同

合計：13,969円

個人募金

- 佐藤 正男様……………30,000円

合計：30,000円

赤い羽根共同募金合計額：1,456,776円

かわさき

社協だより

2022年1月
【No.93】

発行：社会福祉法人川崎町社会福祉協議会 川崎町大字前川字北原23-1 TEL.0224-85-1222
ホームページ <http://www.kawasaki-shakyo.com/pc/> または 川崎町社協で検索してください
制作/印刷：株式会社ホクトコーポレーション

敬老のプレゼントをいただきました



9月22日(水)、岩沼高等学園 川崎キャンパスのみなさんより、川崎町デイサービスセンター利用者の方々へ敬老のプレゼントをいただきました。早速デイサービスセンター内に飾らせていただきました。素敵なプレゼント、ありがとうございました!



表彰おめでとうございます。

令和三年十二月十日、第六十七回宮城県社会福祉大会が開催されました。今年も、コロナ感染予防対策として開催規模を縮小し代表受賞者のみで開催されました。川崎町からも日頃の社会福祉活動に功績のあった方々が表彰されました。受賞された方々おめでとうございます。

第六十七回 宮城県社会福祉大会表彰者 (敬称略)

宮城県知事表彰

【褒状】

- 社会福祉事業篤志奉仕者 (民生委員児童委員)
- 追木 三郎(立野)

宮城県社会福祉協議会会長表彰

【表彰状】

- 民生委員児童委員功労者
- 鈴木 有子(裏丁上)

宮城県共同募金会会長表彰

【表彰状】

- 奉仕功労者
- 原 玖二陽(青根)
- 佐々木 英俊(古閑)

【感謝状】

- 奉仕功労者
- 福島 幸一(前川西部)
- 近江 正人(本荒町)
- 穴戸 善夫(小野)
- 鈴木 雄二(笹谷)
- 沼田 克己(本砂金)

圧巻の和太鼓演奏



華麗に舞うよさこい踊り

これまでも、柴田農林高等学校川崎校のみなさんによる和太鼓演奏を川崎町デイサービスセンター利用者の方々に披露いただいておりますが、今年度もサプライズ演出で和太鼓演奏、さらによさこい踊りまで披露していただきました。

圧巻の和太鼓演奏、よさこい踊りの華麗に舞う姿に自然と手拍子や歓声が沸き起こります。「こんなに感動したのは久しぶり。うれしかった。みなさんから元気をたくさんもらえました。ほんとうにありがとう!」と、利用者の方から感動の声をいただくことができました。
～コロナ禍でもできる・つながる・世代間交流～
気持ちのこもった素晴らしい演奏と踊りをありがとうございました!!



ボランティア活動

柴田農林高等学校川崎校ボランティア部のみなさん、ありがとう!



川校太鼓・よさこい踊りの前に、川崎町デイサービスセンターの窓拭きや、足元の草むしり等の掃除活動をしていただきました!今回の太鼓演奏・よさこい踊りが素晴らしいものになったのも、ボランティア部のみなさんの協力があったからこそです!本当にありがとうございました。

3日目

KYT (危険予知トレーニング)



3日目は、災害発生時のKYT訓練を行いました。KYTとは、「危険のK」、「予知のY」「トレーニングのT」をとった危険予知トレーニングの略称です。学校の中で、災害発生時に危険になる場所をグループに分かれて探し、写真を撮ります。

教室に戻り、写真を見ながらグループごとに探し出した危険箇所について発表してもらいました。

もしも学校にいる時に災害が起きたら、いろんな場所が危険になることに気付いてもらえたと思います。



4日目

バーチャルマップ 作り

4日目はみなさんに仮定の町の住民になりきってもらい、大雨により、時間の経過とともに町の状況が悪化していく設定の中、いくつか課題を出し、どうすれば問題解決できるのかを町の地図に書き込みながら考えてもらうワークを行いました。避難場所の選定や避難方法、支援が必要な方の救助には誰が行くのか、必要な道具は何かなど、限られた時間の中で意見を出し合い考えてもらいました。全員で協力・支え合う大切さについて理解できたのではないかと思います。

5日目

避難所体験



5日目は避難所体験を行いました。

はじめに身近にある材料を使って作る、もの作り体験を行いました(スリッパ、マスク)。避難所に物資がない・届かない場合でも、その場にある材料を工夫すればいろいろなものが作れることを学んでもらいました。次に避難所で活用されている段ボールベッド作成では、(ひとりで持ち運べて、快適で頑丈なベッド)という条件をつけて作ってもらいました。みなさんアイデアを出し合って、試行錯誤しながら協力して完成させていました。

いっどこで起きるか予測できない災害に遭った時、
今回学んだ知識を少しでも活かしてほしいと思います。

災害・防災に
関する

研修・防災ふくしプログラム

を紹介します。

毎年起きるようになった災害。突然やってくる災害から身を守る為には、災害を知り、それに対しての防災を学び、日ごろから災害への備え・心構えができていくのが大切です。特に身近に災害を体験したことのない方々や、10年前の東日本大震災の記憶がない・生まれていなかった子供たちに、災害・被災するとはどういうことなのかを理解・伝えていくことをテーマに取り組んでいます。

防災学習の 紹介

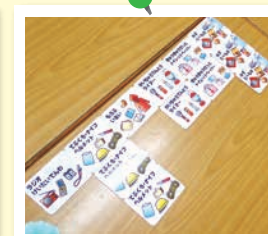
小学生への取り組み

小学生対象の防災・ふくし教育プログラムでは、災害時に使う防災グッズや危険予知トレーニング、避難所体験や防災マップ作りを体験しながら災害や防災についての知識を少しずつ身に付けていき、いっどこで起きても不思議ではない災害に対応できるようになることを目的に実施しています。

昨年から富岡小学校5年生を対象に1日2時間、計5日間の時間を頂戴し防災ふくしプログラムを行いました。

1日目

災害を学ぼう 防災ビンゴ



1日目は、災害って何?ということで、はじめに災害の種類や災害を起こす天気の話、避難情報の話について学んでもらいました。

次にグループに分かれて防災ビンゴを行いました。防災ビンゴとは、防災備品の勉強を兼ねたゲームで、グループごとに家族構成を決めたら各グループから一人ずつ代表でじゃんけんを行い、じゃんけんに勝ったらカードを1枚引いて、全種類の備品カードが揃ったグループの勝ち!というゲームです。何度も同じカードを引いてしまったり、なかなかスムーズには揃いません。最後にグループごとに手持ちのカード(備品)を確認してもらい、それぞれのグループ(家族構成)の中で不足している備品は何か、必要以上にある備品は何かを話し合ってもらいました。

災害時にはお互いに協力することの必要性を説明しています。



2日目

非常持ち出し袋の 中身は何? 非常食体験しよう

2日目は、それぞれの家庭で必要な防災用品について、ひとりずつ発表を行い情報共有しています。今後の家庭での備えに役立ててもらいたいと思います。次に、ひとり暮らし高齢者の方々へお配りしている非常用持ち出し袋の中身を確認してもらいました。

続いて、非常食について説明・紹介し、試食体験を行いました。実際に作って食べてみることで、ライフラインがストップしても簡単に調理できる食事があることを、みなさんに学んでもらいました。

富岡小学校

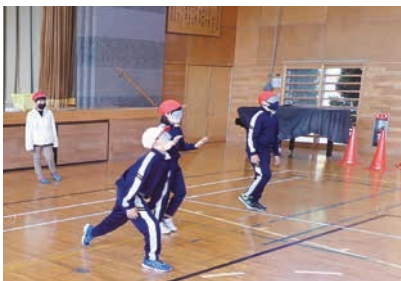
キャップハンディ体験



11月2日(火)、富岡小学校で3年生を対象にキャップハンディ体験を行いました。

1時間目は視覚障がい体験として、耳で聞く情報だけで内容が伝わるかという情報障がい体験、目隠しをしたまま指定した距離まで歩けるかを体験する距離感覚体験等を行いました。

2時間目は白杖体験と車イス体験を行っています。



キャップハンディ体験を通じて、障がいを持っていると普段何気なくできることができない・困難になることを学びました。しかし方法次第でできることはたくさんあることも同時に学びました。障がいをお持ちの方が困っている時、今回体験したことを活かして自然に手伝うことができる人へと成長してほしいと思います。

地域のサロンを紹介します

青根新生会

青根地区で活動されている青根新生会さんへお邪魔させていただきました。歴史の長い青根新生会さんの活動内容は、青根温泉雪あかりのお手伝いや、地域の草刈り・草むしりや空き缶拾いなど、年間通して定期的に環境美化活動をされているそうです。

今回、レクリエーションとしてコミュニケーション麻雀を行い、笑顔の絶えない時間を共有させていただきました。青根新生会のみなさん、ありがとうございました。



高校生・一般の方へ

災害・防災に関する研修会を実施しました。

山形城北高校
キャンプ実習防災
プログラム

9月30日(木)、キャンプ実習として山形城北高校3年生が国営みちのく杜の湖畔公園エコキャンプに宿泊、実習の中に防災体験プログラムを盛り込んでいただき、災害体験談や避難所で使えるもの作り体験を実施してきました。

◎災害体験談では、災害発生し避難することになるとその後の生活はどうなっていくのかを、東日本大震災時の体験談や写真を交えて説明。震災時小学1年生だった生徒たちは当時の記憶が残っており、震災の大きさを物語っていると改めて感じました。

◎もの作り体験では、新聞紙を使って作るスリッパとキッチンペーパーを使って作るマスクを全員に作ってもらい、いざという時の知識として学んでもらいました。



震災があったこと・災害は身近にある事を忘れずに、災害への備えや心構えを身に付けて、犠牲になる方を少しでも減らすことにつなげてほしいと思います。

川崎町ボランティア友の会研修会

10月27日(水)、川崎町ボランティア友の会研修会が開催されました。

今年度の研修会は、災害に関する研修ということで、災害を起こす天気や災害の種類、今年変更になった避難判断基準についての確認と、被災体験談を話させていただきました。

川崎町は幸いなことに大きな災害は起きておりませんが、どこで災害が起きてもおかしくない状況であるため、災害に対する知識や備えの重要性について、学んだ研修会となりました。



川崎町社会福祉協議会では、防災・ふくし教育プログラムに関する出前講座を随時受け付けております。お気軽にご相談ください。

災害・防災に
関する
体験学習の例

- 防災ビンゴゲーム
- KYT(危険予知トレーニング)
- 非常持ち出し袋の紹介
- 災害シミュレーション(バーチャルマップ作り)
- 被災、避難体験話
- 避難所体験
- 避難時に役立つものづくり体験
- 防災福祉マップ作り
- 非常食紹介、試食体験、防災クッキング、サバイバル飯作り

お問い合わせ先 … TEL:0224-85-1222